

## 校長からの挑戦状⑤

『ハリーポッターと賢者の石』より

ハリーポッター・シリーズの第1巻『ハリーポッターと賢者の石』のクライマックスのところで、ハリー、ロン、ハーマイオニーの3人が地下道を進む場面があります。

ロンの活躍で「チェスの間」を通り抜けたハリーとハーマイオニーは、次の間で、7つの瓶の中から薬を選ばなければならない状況になります。

物語では、ハーマイオニーがこれを解いて、ハリーが「前進の薬」を飲んで次のステージに進み、宿敵と対決することになります。

ハーマイオニーと同様に、「前進の薬」「後退の薬」が何番の瓶なのかを見破ってください。本文を抜き出すと長くなるので要点だけ書いてみます。

- 「前進の薬」と「後退の薬」が1つずつある。  
「イラクサ酒」が2つ、「毒」が3つある。  
「前進の薬」「後退の薬」は何番の瓶か？

<ヒント>

- 1 イラクサ酒の瓶の左には、毒の瓶がある。
- 2 両端の二つは種類が違って、どちらも「前進の薬」ではない。
- 3 「小人」と「巨人」の瓶は毒ではない。
- 4 左から2番目と右から2番目は中身が同じ。

